



# 保健室便り

No.152 2025 年 4 月

桃山学院大学 保健室

## 麻しんは世界で流行している感染症です

**ゴールデンウィーク中、ゴールデンウィーク明けも麻しんに注意が必要です!!**

- ゴールデンウィーク中に旅行を計画している人は、麻しんウイルスに対して免疫があるか確認して下さい。
- 麻しんの潜伏期間は 10 日～12 日と長いのでゴールデンウィーク後に海外からの帰国者が感染していることに気が付かず、国内に持ち込んで感染を広めることがあるので注意してください。
- 海外から帰国した人は、帰国後 2 週間は体調管理に注意して下さい。
- 発熱、発疹などの症状が出た場合は、医療機関へ症状を伝えて、医療機関の指示に従って受診して下さい。

### 麻しんについて

麻しんは、発熱と発疹を特徴とする全身性のウイルス感染疾患です。感染力が非常に強く、麻しんウイルスに対して免疫が不十分だと感染します。

合併症として、肺炎、稀に脳炎を発症し死亡することがあります。さらに麻しんウイルスに感染し快復した後、数年の期間を経て、亜急性硬化性全脳炎を発症する場合があります。知能低下、歩行障害の症状から発症し、現在治療方法はないので症状が徐々に進行し、自分で食事を摂ることも出来なくなります。

有効な予防方法は、ワクチン接種を 2 回受け麻しんウイルスに対して免疫を獲得すれば、発症のリスクを最小限に抑えることが期待出来ます。

### 海外の麻しん発症状況

中東やアジアで流行が目立ちます。日本国内で発症した麻しん患者の推定感染地域では、ベトナム、タイ、パキスタンなどです。

2025 年 1 月 1 日～3 月 20 日までにアメリカの 17 州で 378 例の麻しん患者が報告され、2 例の死亡が確認されています。アメリカで麻疹による死亡が確認されたのは、10 年ぶりです。患者の多くはワクチン未接種又は接種状況が不明な小児です。

日本での麻しんのワクチン定期接種の方法は、WHO が推奨する 2 回ではない年代があるので以下の表を参考にご自身の麻疹に対する免疫を確認してください。

| 生年月日 2024年時点の年齢    | 麻しんワクチン接種状況                                                             |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 1972 年以前           | <b>ワクチン未接種世代</b> 自然感染により免疫を十分に持っている人以外は合計 2 回のワクチン接種が必要                 |
| 1972/10/1～1990/4/1 | <b>1回しか接種していない世代</b> 免疫を十分に持っていない可能性が高く、自然感染していなければ、合計 2 回となるよう追加の接種が必要 |
| 1990/4/2～2000/4/1  | <b>特例措置対象者の世代</b> 2回目のワクチン接種対象となったが、接種率が低く合計 2 回の接種を受けていなければ追加接種必要      |
| 2000 年 4/2 以降      | <b>定期接種として 2 回受けている世代</b> 2回の定期接種を受けていなければ追加接種必要                        |



不安なことや、わからないことがあれば保健室までご相談ください。

保健室窓口時間:9:10～16:40 (月～金)

TEL0725-92-7614(直通)

メール:hoken@andrew.ac.jp